

／リニューアルしました／

となみ 市議会 だより

～ 令和6年8月定例会 ～

Contents

- 特集 病児保育が始まる
- P4 代表・一般質問
- P13 決算特別委員会
- P15 議会トピックス

2024

10.25

No. 38

病児保育が始まる！

子育て世代に寄り添った施策 特集 病児保育が始まる！

砺波市は共働き家庭が多く、女性の就業率も高くなっています（図①）。子育て世帯にとって、子どもの急な病気に対する不安は少なくありません。



2 「急に仕事を休めない」 「だれに頼ればいいのかしら」

そんな不安な声を受け、過去の市議会でも病児保育に対する質問を行ってきました（図②）。第2次砺波市総合計画後期計画では、子育て支援サービスの充実として「病児・病後児保育の施設整備と運営に努める」とし、病後児保育を平成25年11月にちゅうりっく保育園でスタートしました。そして、今回の8月定例会で、医療法人社団ナラティブホームの病児保育施設設置に対する本市の補正予算審議を行いました。

（詳しくは、12頁をご覧ください。）



他にもあります／

子どものための環境づくり

砺波市では令和6年の夏休みから、小学校プールの使用時間を午後から「午前中」の解放へ変更しました。

議会での質問

（令和6年6月定例会）

猛暑対策に、夏休みに解放される小学校プールの使用時間の変更を

（令和6年8月定例会）

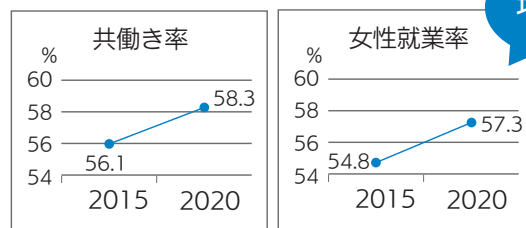
夏季休業中のプール開放の時間変更に伴う効果や改善点は

1 そもそも病児保育と病後児保育の違いとは？

病児保育とは、突然の病気で仕事を休むことができない、家庭で看病することが難しいなどの際に、病院や保育所に併設された専用スペースでの一時預かりです。

病後児保育とは、かぜ、感染症（はしか、みずぼうそう、おたふくかぜ等）、骨折、やけど等の状態が安定した状態で、安静にしていれば回復に向かうと医師が診断した場合の一時預かりです。

図① 砺波市の共働き・女性就業率



出典：国勢調査「就業状態等基本集計」

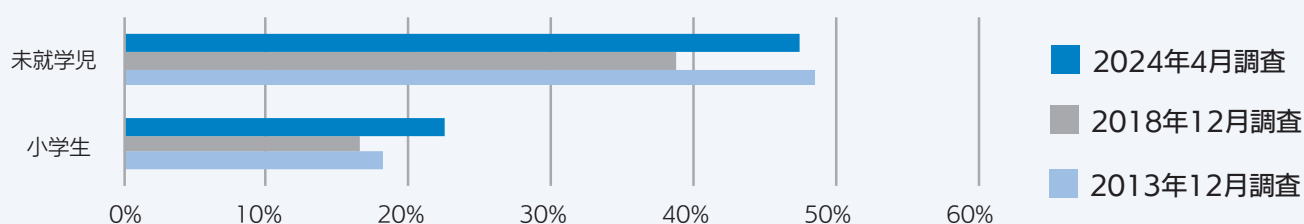
増加中

図② これまでの議会の主な質問

- 病児保育・特別保育など多様な保育ニーズへの対応を（平成15年9月定例会）
- いざという時の支援策病児・病後児保育を（平成22年6月定例会）
- 病児・病後児保育から子育てと仕事を支える支援を（平成27年6月定例会）
- 病児保育は医療機関併設型を（平成29年6月定例会）
- 病児保育の導入に公的な施設の利活用を（令和4年2月定例会）
- 近隣市町の状況を鑑み病児・病後児施設増を（令和5年8月定例会）

市では、子ども・子育て支援事業計画策定のため保護者へアンケート調査をしています

病児・病後児保育施設の利用希望について



3 病児保育施設設置までの経緯を 教育委員会こども課に伺いました

もともと砺波市では、子どもが病気の際に保護者が看護できるように、休暇取得できる職場環境づくりに視点を置いてきたのですが、県内の実施状況や子育て環境の充実として、病児保育の必要性が高まってきました。

すでに実施している他自治体では、病児の体調を第一に考え、医療施設内又は医療施設近接で実施されていました。

そのような中、令和4年から、医療法人社団ナラティブホームと実施が可能か協議に入り、令和5年、ものがたり診療所の佐藤医師にご理解をいただき、要望を受けていただくことになりました。



病児保育施設の建設予定地



医療法人社団
ナラティブホーム
理事長 佐藤 伸彦 氏

4 病児保育施設開設にあたって 佐藤医師に想いを伺いました

令和2年秋に太田地区にものがたりの街をオープンし、住み慣れた場所で最期まで暮らせるお手伝いをしてきました。

そのなかで、砺波市に病児保育がないため、働く子育て世代が困っていることを何度か聞くうち、人が生まれてから最期まで安心して暮らせることを一層考えるようになり、地域の方のご理解を得ながら病児保育を行うことといたしました。

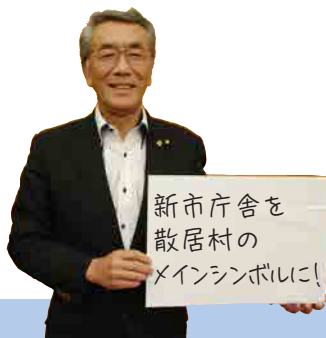
今後も砺波市からご指導賜り、一緒に努力してまいりたいと存じます。

取材を終えて

市民の皆さんの声が反映され、新たに設立される病児保育施設は、子どもが急に病気になった時でも安心して仕事を続けることや、子どもたちも安心して療養できる環境となります。働きやすさ、育てやすさは住みよさに繋がります。これからもよりよい環境づくりへのアシストを続けていきます。

(担当 境 佐余子)





かわべ かずひこ
川辺 一彦議員



代表質問

散居村を活かしたまちづくりについて

Q 散居景観を文化庁の「重要文化的景観」に選定してもらうことで、砺波市の観光資源に「日本の冠」を付けることと、現在の最有力候補地（県花総合センター）が新市庁舎に選ばれば、敷地内の大型樹木を「かいによ」として活用した散居村のシンボルとして市庁舎を整備されることへのご所見を伺います。

A 「重要文化的景観への登録」について、市では平成18年から3年間にかけて調査等を進めていましたが、いろいろな選定条件や選定後の制約などがあり、選定申請に至らなかった経緯があります。

その後、選定条件についての改正はありましたが、地区内施設の修理や修景等には制約があり、現在の住民の生活実態から判断すると今のところ難しいと考えています。しかし、今後とも本制度について情報収集していきます。

新庁舎の建設候補地については、現在、県があり方検討会を進めている「富山県花総合センター」を最有力候補地として考えています。そして、市では建設地をこの「富山県花総合センター」と想定した基本構想を策定し、素案の中では既存樹木の活用や花と緑の砺波にふさわしいエリア形成を目指すことを明示しています。

また、大きな樹木を生かすことで風雪を防ぎ日差しを遮るなど、かいによ本来の効用が発揮されることで、脱酸素の観点からもメリットがあることから、できる限り既存樹木を活用できればと考えています。



8月定例会 代表・一般質問

9月2日・3日の両日、10人の議員が
市政に対する代表・一般質問を行いました。



代表・一般質問とは

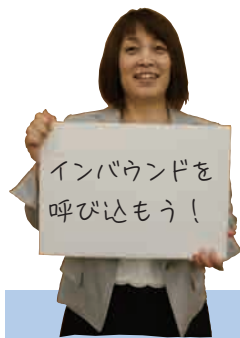
議員が市のあらゆる施策について問いただし、自由な意見を述べ、それについて市の公式の見解を求める機会です。代表質問は、会派を代表して質問を行うことです。

※ 8月定例会での代表・一般質問の録画映像を、インターネットで配信しています。
議員氏名の下QRコードからも、質問の映像を見ることができます。

砺波市議会

検索





はやし のりこ
林 教子議員



台湾からの観光客をさらに増やすために

Q 親日国である台湾に向け2025チュールリップフェアへの誘客キャンペーンを、これまでより2カ月前倒し、9月に行うのはなぜですか。

A インバウンド需要の高まりから、観光バス、宿泊などの手配が困難になっており、今後さらに多くの送客を実現するために、早い時期での情報提供が効果的とのアドバイスをいただいたことから9月に実施することとしました。

Q キャンペーンでは、どのような企画を持って訪問されるのですか。

A 「フェア入場割引」と「オリジナルバックプレゼント」のセットを基本とし、人気スポットを混雑なく見ることができる「早朝入場プラン」など付加価値商品を考えています。

また市内の飲食店、土産物店、宿泊施設、観光施設、体験施設の情報を保存したUSBメモリを配布します。URLやQRコードを読み込むことで、ホテル・飲食店のHPや予約サイトに直接リンクするシステムにします。さらに自由に利用できる市内観光地のフリー写真や動画も保存しており、本市への誘客や滞在時間の拡大や市内経済の波及にもつながるようにしたいと考えています。

Q 今回の訪問で新たに台湾南部エリアにもターゲットを拡大し、新たな誘客につなげてほしいと考えます。市の見解を伺います。

A 新たに南部の高雄市に本社のある2社へ訪問します。高雄市は人口270万人、隣接する台南市は185万人とマーケットは大きく旅行需要も高いと聞いており、本市への送客につながるようアプローチを行いたいと考えています。

質問の趣旨

これまで行われてきた台湾キャンペーンは着実に実を結んでいます。台湾北部だけでなく、南部にもアプローチを行うことで、誘客やマーケットが拡大すれば、さらなる市内経済への波及につながると考え質問しました。

川辺 一彦議員

代表質問

人口減少社会での砺波総合病院の使命と経営について

Q 砺波総合病院を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症に伴う医療需要の変化に加えて、医師の働き方改革等により経営環境は一層厳しさを増しています。

特に人口減少に伴う生産年齢人口の減少は、病床数に見合った医療人材の確保に影響を与えると考えますが、今後とも病院の使命を全うしながら経営面を確保していくための方針について伺います。

A 富山県では、今後の人口減少と高齢化社会への対応として病床の機能分化と連携を進めるとともに、効率的な医療提供体制の実現に必要な病床数を定め、回復期病床の維持と急性期病床の減少を目指しています。

砺波総合病院では急性期病床の一部を転換し、令和7年4月に14床の緩和ケア病棟を開設する予定です。これにより一般病床が26床減り、全体の病床数は471床から445床となります。この緩和ケア病棟は在宅がん患者の疼痛緩和を目的として開設し、在宅医療への新たな支援策として打ち出すものです。

経営面では、一般病棟入院基本料算定の核となる看護体制の維持が生命線のため、看護師の確保が困難となってきた現状を踏まえれば、病床数を現実的なものに変更していくことが重要です。

加えて、がん診療連携拠点病院として緩和ケア病棟の開設に伴い、がん治療の充実と診療単価の向上を目指します。

今後とも、当院の役割や医療従事者の確保状況を見極めて、持続可能な医療提供体制の構築に努めていきます。





さかい さよこ
境 佐余子議員



こうしま としあき
神島 利明議員



誰もがスポーツに親しめる砺波らしいスポーツ振興施策として

Q 市民体育大会の「スポーツから地域の連帯感醸成促進」ですが、地域で選手を選ぶ負担が大きくなっています。本市は地域間で競わずとも、すでに協力・共有・助け合いといった活動があります。そこで地区対抗戦という形式を廃止し、市民が純粋にスポーツに親しみ競える大会とはならないでしょうか。

A 市民体育大会は、市民にスポーツを普及し、地域コミュニティの一層の推進を図ることを目的に開催しています。地区において同じ競技をしている様々な世代の市民が、1年に1回、スポーツを通して、コミュニケーションを図ることは、地域づくりの一つの手段として有効です。引き続き、地区対抗形式を継続し、より参加しやすくスポーツに親しめる大会となるよう進めます。

質問の趣旨

十数年前の市民体育大会開会式には、多くの地区住民が参集しましたが、そこから社会構造は急速に変化し、各地区組織の縮小も見受けられるようになりました。加えてコロナ禍を挟み、大会への参加や運営のあり方にも変化が出ています。

県内の市民体育大会で地区対抗戦形式をとっているのは、本市と他一市のみです。本会議の中でも触れましたが、いわゆる地域力の向上に向けた取り組みは多様にあります。

次年度から「市民スポーツ大会」に名称変更になります。参加者の増加と地域力の向上は、ぜひ別の視点とし、広く市民の健康促進を主眼として今後の大会の在り方を考えていただきたいと思います。

第20回砺波市民体育大会総合成績点一覧表

地区	男子	女子	合計
地区対抗戦	1	1	2
地区対抗戦	2	2	4
地区対抗戦	3	3	6
地区対抗戦	4	4	8
地区対抗戦	5	5	10
地区対抗戦	6	6	12
地区対抗戦	7	7	14
地区対抗戦	8	8	16
地区対抗戦	9	9	18
地区対抗戦	10	10	20
地区対抗戦	11	11	22
地区対抗戦	12	12	24
地区対抗戦	13	13	26
地区対抗戦	14	14	28
地区対抗戦	15	15	30
地区対抗戦	16	16	32
地区対抗戦	17	17	34
地区対抗戦	18	18	36
地区対抗戦	19	19	38
地区対抗戦	20	20	40
地区対抗戦	21	21	42
地区対抗戦	22	22	44
地区対抗戦	23	23	46
地区対抗戦	24	24	48
地区対抗戦	25	25	50
地区対抗戦	26	26	52
地区対抗戦	27	27	54
地区対抗戦	28	28	56
地区対抗戦	29	29	58
地区対抗戦	30	30	60
地区対抗戦	31	31	62
地区対抗戦	32	32	64
地区対抗戦	33	33	66
地区対抗戦	34	34	68
地区対抗戦	35	35	70
地区対抗戦	36	36	72
地区対抗戦	37	37	74
地区対抗戦	38	38	76
地区対抗戦	39	39	78
地区対抗戦	40	40	80
地区対抗戦	41	41	82
地区対抗戦	42	42	84
地区対抗戦	43	43	86
地区対抗戦	44	44	88
地区対抗戦	45	45	90
地区対抗戦	46	46	92
地区対抗戦	47	47	94
地区対抗戦	48	48	96
地区対抗戦	49	49	98
地区対抗戦	50	50	100

□部分…参加者がいない競技

小中学校特別教室にエアコンを設置し、快適な教育環境を

Q 今年の夏も危険な暑さが相次ぎ、全国の平均気温が、7月としては気象庁が統計を取り始めてから最も高くなりました。こういった環境の中で小中学校では、普通教室には100%エアコンが設置してありますが、特別教室については、図書室以外はほぼ付いてない状況で本市の特別教室エアコン設置率は30.5%です。県内の氷見市を除く8市の特別教室エアコン設置状況を各教育委員会に確認したところ、大半の自治体では今後再編のある学校を除き設置してあるとの状況です。他市の状況は参考にはならないかもしれませんが、砺波市の設置率があまりにも低いと思います。市の見解を伺います。

そこで、来年以降も危険な暑さが続く中で児童生徒の命と健康を守るためには、特別教室にもエアコンの設置が必要と考えます。市の見解を伺います。

A 本市の小中学校の特別教室の空調設備については、全ての小中学校の図書室は設置済みである一方、理科室、図工室、美術室、技術室といった授業で使用する特別教室は、多くの学校において未設置であり、県内でも低い設置率であることは認識しています。特別教室への空調設備の設置については、児童生徒の健康と安全を守ることを重要な課題と捉え、優先事項として考えていますが、設置には多額の費用が必要なため、整備手法や財源措置、設置時期なども含め、市の財政状況も勘案し、計画的に進めていきます。

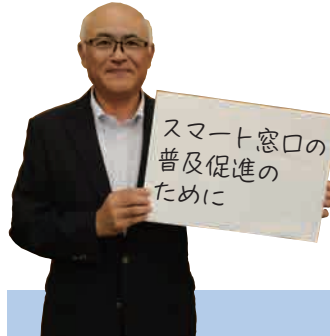


答弁を受けて

特別教室エアコンの設置は、児童生徒の健康と安全を守ることを重要な課題と捉えているのであれば、最優先事項として早期に取り組んでもらいたいと思います。



こにし とよかず
小西 十四一議員



むかい みきお
向井 幹雄議員



工業団地の方向性について



当市の発展のためには、新たな工業団地造成や企業誘致は欠かせません。

砺波市全体が活性化することにつながり、しいては現在全国で問題視されている少子高齢化、人口減少、地域創生、交流人口や関係人口の増加に寄与するのみならず、富山県にあっては、若い女性の県外流出、砺波市においては、住みよい街づくり、の問題解決に向けたきっかけになると考えます。

一方で本市においては、農地の確保は農業者の生活の基盤であり、様々な観点からとても重要と考えます。

今後更なる市の発展のためには、工業団地造成、新たな企業誘致、そして農業地の確保を担保し農業の発展とともに、今後想定される人口減少や高齢化と相対しながら、この相反する事に対峙していかなければなりません。

工業団地の造成や企業誘致の方針について今後どのように進められていこうと考えていらっしゃるのか市の見解を伺います。



企業誘致は、人口や雇用の創出など、本市の持続可能な発展に向けた様々な効果が期待されます。

工業団地造成に向けては、用地の確保をはじめ、地域全体の合意形成が最も重要であり、今後も本市が誇る農商工のバランスを保ちながら、丁寧に事業を進める必要があります。加えて、企業が求める、より現実的な候補地を選定するには、道路、工業用水道、下水道の整備や土地改良事業など様々な条件を勘案し、将来の財政負担にも配慮しながら計画的に進めていく必要があります。

今後は、これらを踏まえ、土地利用の現状や地形などの条件や課題を整理し、まずは、候補地の選定に向けた適地調査を進めたいと考えています。

質問の趣旨

工業団地造成が進められる中であって、農地の減少が危惧され、今後の方向性について市の考えを質問しました。



スマート窓口の普及促進のために、モニターを設置して窓口サービスができる環境を整えては

スマート窓口は、自宅で事前に申請書を作成し、QRコードを取得して市役所へ持参することで窓口の小書きを最小限に抑えることができますが、令和6年4月から7月の申請件数、30件程度にもあるように利用があまり進んでいない現状にあります。

住民がスムーズに利用できない技術的な課題や従来の窓口対応に慣れており、新しいシステムに対する抵抗感があるのかもしれません。

そのため、現在、スマート窓口業務が40件にも及ぶサービスとなっており、活用いただくためにも、普及促進をはからなければなりません。

そこで、高齢者や情報弱者の方々にも、デジタルデバイスを利用しやすくなり、多言語対応しているこの手続きを、市役所窓口で職員がサポートしながら、市民がご自身で入力し、スマート窓口の申請ができないものか伺います。



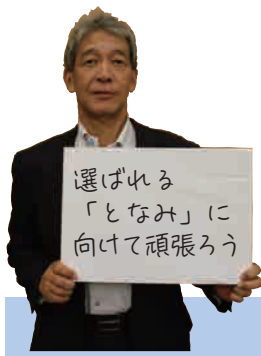
8月より庄川支所の窓口において、実証事業としてタブレットを配置し、職員がサポートしながらスマート窓口システムで入力できる運用を開始しました。

スマート窓口普及促進のために、窓口で職員がサポートできないかという提言については、市内部の職員等からも同じような提案があり、「システム標準化・窓口BPRワーキンググループ」で検討を行い、8月より庄川支所の窓口で、実証事業としてタブレットを配置し、職員がサポートしながらスマート窓口システムで入力していただく運用を開始しました。

この運用の実績を踏まえて、運用上のメリットやデメリットを把握し、新たな課題などの対応を再検討した上で、可能な範囲で本庁の窓口でも、展開できないかを検討します。

答弁を受けて

本庁窓口においても、タブレットを配置し、職員がサポートしながらスマート窓口システムで入力できる環境を整えていただきたいと思います。



かいだ てつひろ
開田 哲弘議員



ありわか たかし
有若 隆議員



ふるさと納税について

Q ふるさと納税は、自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで寄付ができる制度です。

本来は砺波出身の方々が、「ふるさとがんばれ」とエールを届けてくれる制度と思っているのですが、自治体の取り組みまちづくりや復興支援などさまざまな課題に対してや、気に入った特産品や返礼品があれば寄付できることから、当市では返礼品の選定にはどのように取り組まれますか。

A ふるさと納税の返礼品については、制度開始当初から、砺波ならではの産品をアピールし、本市の魅力を知っていただくことを重視して、となみブランド認定品をはじめ、となみの特産品を中心に選定しています。また、昨年度からは、返礼品提供事業者の公募制度により、市内の事業者の方に自ら返礼品を申請していただくことで、更なる返礼品の拡充に取り組んでいます。

このことにより返礼品数は令和4年度末の109から現在は204まで増加し、豊富な返礼品から選定することができます。また、ふるさと納税を活かして砺波ファンを獲得することについては、ふるさと納税の寄附者との縁を活かすため、単に商品の提供だけではなく、返礼品提供事業者の皆さんと協力をして、地域資源を活用した体験型返礼品や宿泊券など、砺波を訪れたくなる魅力的な返礼品を用意し、その内容の充実を図っていきます。

加えて、ふるさと納税は、お礼状の送付を通じて寄附者と関わりをもつこともできるため、当該書類に本市のイベント等の観光情報やとなみシティプロモーション映像などにアクセスできる二次元バーコード（QRコード）を印字する取組みも拡大実施することで、さらなる砺波ファンの獲得につなげていきます

質問の趣旨

砺波市のファンを獲得することは、砺波市の発展につながると考えています。

出町市街地及び市街地周辺の浸水（雨水）対策の推進を

Q 近年頻発するゲリラ豪雨により、出町市街地及び市街地周辺では、床下浸水や道路の冠水、水路の溢水する被害が度々発生しました。そこで、市では浸水対策を下水道事業による雨水排水整備で実施するため全体計画を見直し、平成28年度に雨水排水整備事業の中神・中神西排水区の基本設計に着手、平成29年度に豊町公園調整池の実施設計を行い、平成30年度に工事を施工しました。また、平成30年度には三島町公園調整池の実施設計を行い、令和元年度に工事を施工し完成しましたが、その効果についてどのように評価されているのか伺います。

A 整備後から令和5年度末までには、豊町公園調整池が5年間で21回、三島町公園調整池が4年間で11回の流入の実績がありました。また、昨年7月の豪雨時には、2つの調整池の整備後に最大時間雨量61ミリメートルを観測し、初めてほぼ満水になったところです。このように2か所の調整池を整備したことで大規模な浸水被害が発生していないことから、整備効果はあったと考えています。



芝生の下に調整池がある豊町公園

Q 砺波市の公共下水道事業全体計画における雨量は、1時間当たり54ミリメートルとしていますが、見直しについてどのように考えているのか伺います。

A 国では、気候変動を踏まえた下水道による都市浸水対策の推進に取り組んでおり、これを参考に全体計画の変更を検討していきます。

Q 未整備の調整池(駅南・出町中学校・出町東部第3)と杉木の前川バイパス管の今後の整備促進について伺います。

A 施設の整備には、多額の費用が必要なため、国の防災・安全交付金を活用するなど有利な財源を確保して計画的に整備を実施していきます。

質問の趣旨

近年の気象変動によって頻発する豪雨に対する浸水対策として、調整池の有効性と今後の雨水対策における基本的な考え方、未整備地域における早期の雨水排水整備を速やかに進めていくことの重要性を伺いました。



給食費の無償化について

Q 文部科学省による学校給食に関する調査によると、富山県内の学校給食費は小学校が月額5,311円で福島県に次いで全国2番目に高く、中学校は月額6,282円で全国で一番高額になっています。全国では既に3割の自治体が完全無償化を実施しており、実施している自治体の理由は「保護者の経済的負担の軽減・子育て支援」が最も多くなっています。市の給食費無償化についての考えは？



A 自治体間の格差が生じないように、必要性や他の福祉事業との関係も含めて、国が責任を持って国の施策として検討するべきものです。今年度も市から富山県を通して要望しているほか、全国知事会及び全国市長会など様々な方面からも要望、提言をしています。

今後とも、継続して国や県に対し強く要望していきます。

質問の趣旨

富山県では「子育て環境日本一」を掲げながら全国で最も給食費が高いという調査結果を知り非常に衝撃的でした。

我が家は子供が4人いますが、学校からの引き落としが毎月10万円近くあり、子育て世代の経済的負担が大きいことを常に感じています。給食費の負担軽減で何とか緩和できないかという視点で質問しました。

「住宅改修」「福祉用具」費用の支給を受領委任払いに

Q 介護保険には、手すりの設置、段差の解消などの住宅改修や、腰掛便座などの福祉用具の購入に要する費用を支給するサービスがあります。「住宅改修」では上限を20万円、福祉用具では上限を10万円として、1割から3割の自己負担分を除いた費用を保険で給付する制度ですが、現行の償還払い制度を受領委任払い制度に改めることを求めます。

償還払い制度では、住宅改修を行ったり福祉用具を購入する際、いったんかかった費用の全額を事業者支払い、のちに自己負担分を除いた額を保険組合から返還してもらうことになります。

受領委任払い制度では、自己負担分のみ事業者支払い、残りの額は保険組合から事業者支払われることになります。

大きな一時負担をしなくてよいので、受領委任払い制度にしてほしいという声がありますが、富山県で実施しているのは魚津市と射水市だけです。全国的には住宅改修で64%、福祉用具で56%の自治体が行っており、当市でもぜひ実施を求めます。

A 現在、介護保険の住宅改修及び福祉用具の購入に要する費用の支給は「償還払い制度」で行っています。

砺波地方介護保険組合によると、「償還払い制度」によって、一時的にも金銭的負担が生じることで、住宅改修等を躊躇したとの事案は聞いておりませんが、「受領委任払い制度」を導入すれば、利用者側は自己負担分のみを支払うことになり負担軽減や制度が利用しやすくなるなどのメリットがあります。

既に導入済みの先行自治体の状況を確認しながら、支払い方法を検討するように砺波地方介護保険組合に伝えます。

原案
可決

議案第43号 令和6年度砺波市一般会計補正予算（第3号）

物価高騰対策イベント支援補助金などに係る補正予算を追加

物価高騰対策イベント支援として、となみチューリップフェア運営にかかる経費の高騰分及び観光需要の回復・持続可能なイベントに向けた備品等の整備に対する支援を行うため、また、クマ被害防止対策のAIカメラの導入やたまねぎ・チューリップ球根の輸出拡大及びチューリップスマート団地等に対して支援する補正予算となりました。



AIカメラによるクマの写真

歳入の主な補正

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	1,300万円
クマ対策推進事業補助金	100万円
とやま輸出拡大活動支援事業補助金	100万円
次世代に向けたチューリップスマート団地支援事業補助金	200万円

歳出の主な補正

物価高騰対策イベントに対する支援（となみチューリップフェア）	1,300万円
クマ被害防止対策（AIカメラ12台導入）	200万円
とやま輸出拡大活動支援（たまねぎを香港へ・チューリップ球根を台湾へ）	150万円
チューリップスマート団地支援（チューリップ圃場の集積）	300万円

となみ野農業協同組合との意見交換会を実施しました

7月31日、持続可能なとなみ野農業の発展に向けて、健全な土づくりの推進、労力の軽減、環境に配慮した農業、大門素麺の存続・生産拡大に向けての改善、令和6年度産たまねぎの概況などについて、となみ野農業協同組合と意見交換を行いました。



詳しくはこちらから▶



議案第43号 令和6年度砺波市一般会計補正予算（第3号）

老朽化した庄東センターに代わる旧般若幼稚園の改修工事と備品購入費に2,976万8千円を補正予算化

なぜ

46年間にわたり、地域高齢者の拠り所であった庄東センターの浴場をはじめとする施設設備の老朽化により、隣接している旧般若幼稚園を改修することで団塊世代の高齢者や子育て世代とその子ども達に利用していただくとするものです。

改修内容

改修内容は旧幼稚園の間取りは変えず、全室フローリング仕様だった一部の部屋に畳やカーペットの部屋を設けることや、幼児施設であったことから大人用のトイレを新設します。また、大広間となる遊戯室にはエアコンが無かったため設備することや、備品では音響機材と受付カウンター等を購入予定です。

改修後の施設に浴場設備はありませんが、旧幼稚園の面積は浴場を除いた庄東センターの総延べ床面積と同等な面積となっています。

歳入の補正 市債 2,470万円 一般財源 506万8千円

歳出の補正 （仮称）庄東福祉施設改修工事費 2,764万7千円
備品購入費 212万1千円



議案第43号 令和6年度砺波市一般会計補正予算（第3号）

議案第45号 砺波市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

「災害弔慰金の支給等に関する法律」の規定により、市の条例にも「審査会」を設置することになりました

なぜ

今までの砺波市災害弔慰金の支給等に関する条例では、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波その他異常な自然現象による災害により市民等が死亡したとき、その者の遺族に対し、災害弔慰金を支給するとなっています。

しかし、昨今多発する災害等では「災害関連死」等が増加していることから、その事項等を調査審議するための「砺波市災害弔慰金等認定審査会」を設置するものです。

審査会とは

審査会の委員は、医師、弁護士、医療ソーシャルワーカー、災害専門の学識経験者その他市長が必要と認める者とし、5名以内とされています。また、審査会の開催は審査会に申請される件数等の状況によって適宜開催される予定としています。

歳入の補正 一般財源 9万4千円
（年間に1回の開催を予定）

歳出の補正 災害弔慰金等認定審査会委員報酬 8万7千円
災害弔慰金等認定審査会委員費用弁償 7千円

社会福祉協議会との意見交換会を実施しました

8月22日、砺波市社会福祉協議会との意見交換会を行いました。

「能登半島地震に学ぶ、災害時の市社会福祉協議会の役割」「福祉施設のあり方」をテーマに説明を受け、意見交換を行いました。

詳しくはこちらから▶



原案
可決

議案第43号 令和6年度砺波市一般会計補正予算（第3号）

太田地区での病児保育施設整備にむけて事業費5,597万5千円を追加

病児保育施設の利用について

医療法人社団ナラティブホームが、市内太田にある「ものがたりの街」の敷地内において、市内初の病児保育施設を整備します。この施設は2階建てで病児保育専用となります。利用料は本市の一時預かり事業と同じです。施設の運営に当たっては、国の補助金を活用し、市からも補助されます。

定 員	3名
対 象 年 齢	生後6か月から就学前
開 設 時 期	令和7年度中
開 設 時 間	AM8：30～PM4：30 月曜～金曜 (土・日・祝、年末年始休み)
利 用 料	2,000円／1日 1,000円／半日

その他歳出の主な補正

防災対策費	265万6千円	(安否確認ツール導入費用)
消防団活動費	87万6千円	(バルーン投光器を4分団に配置)
消防団活動費	800万円	(庄下分団の全国消防操法大会出場)
公民館費	200万円	(公民館分館の耐震診断と耐震補強の補助金)
文化財保護事業費	100万円	(千光寺の土蔵修復)

原案
可決

議案第48号 砺波市子ども・子育て会議条例の一部改正について

子ども・子育て支援事業計画は、市町村こども計画と一体的に策定

第三期子ども・子育て支援事業計画策定に向けて

子ども・子育て支援事業計画は子育て当事者のニーズ調査を基に、計画的に施策を実行するために作成されます。今年度で第2期の計画が終了となるので、現在子ども・子育て会議と共に計画の検討が行われています。計画の内容は放課後児童クラブの在り方や、ヤングケアラーなど多岐にわたります。

子どもまんなかであるためには

今回策定を目指す市町村のこども計画は、こども基本法のこども大綱を勘案します。また子どもの貧困や、若者施策、少子化対策など、より広範囲に渡るために、庁内を横断した検討会議で考えていきます。

決算特別委員会

9月11日～13日

議案・認定を審査し
可決・認定しました



審査した内容

- 議案第49号～第51号 令和5年度砺波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分ほか 2件
- 認定第1号～第9号 令和5年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定ほか 8件

(詳しくは14頁をご覧ください。)

Q

経常収支比率と今後の見通しについて

A

経常収支比率が高くなってきているのは全国的な傾向で、今後も、人件費・扶助費などが一定程度増えていく見込みです。指標の動向には注意を払いつつ、現実的マネジメントを行うため、トータルで見えていくことが大切です。その上で、歳出面では行政改革を推進することでDX化による働き方改革や公共施設の再編などにより、経常経費の削減に取り組みながら、歳入面では企業誘致の推進や移住定住等を進め、税収の確保を図るとともに、今後も国県補助金や有利な起債の活用を図るほか、ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング等により財源の確保に努めます。

Q

市税の未納や滞納対策について

A

従来の訪問徴収から差押等を中心とした「調査・処分型」による滞納処分に転換し、納税折衝と同時に財産調査を行い悪質と認められる滞納者に対しては、差押による債権の取り立てを適宜実施しています。特に金融機関等に対してインターネットによる預金調査を導入して調査の迅速化を図っています。

Q

病院事業会計の赤字決算の要因と今後の経営方針について

A

令和5年度の決算は、令和元年度以来の赤字決算となりましたが、今後は、給与費の上昇、緩和ケア病棟改修工事、医療機器更新、修繕費の支出等により、引き続き厳しい経営が続く見込みとなりますが、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携をさらに推進し、集患対策等により医業収益を確保していく必要があります。

また、物価高騰による費用の増大に対しては、価格交渉や在庫管理の強化による材料費の削減や省エネルギー対策を講じ、職員のコスト意識の向上、病棟再編による適切な病床数管理など、質の高い医療の提供と一層の経営強化に努めます。

令和6年8月定例会
(8月26日～9月19日)

賛否公開

議案等に対する議員の賛成・反対一覧です。

定例会や臨時会最終日の翌日に、市議会ホームページでも公表しています。



○…賛成 ●…反対 議…議長(採決に加わりません。)

番号	議案等の名称等	審議結果	境 余子	林 教子	向 井雄	神 島利明	小 西一弘	開 田弘	境 本欣吾	山 本篤史	有 若順隆	山 田一彦	川 本善郎	山 崎孝	島 岸勇	大 楠匡子	今 藤久之	山 森文夫
議案 第43号	令和6年度砺波市一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出1億3,605万6千円を追加、予算総額を238億1,058万7千円とするもの	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第44号	砺波市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について 重大な災害が発生した場合等を行う災害応急作業等に従事する職員に対する手当を新たに設けるため、この条例において所要の改正を行うもの。	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第45号	砺波市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について 「災害弔慰金の支給等に関する法律」の規定により、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議する審査会を設置するため、この条例において所要の改正を行うもの。	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第46号	砺波市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について 令和6年10月から児童手当の所得制限が撤廃されることに伴い、当該助成に係る所得制限を撤廃するため、この条例において所要の改正を行うもの。	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第47号	砺波市国民健康保険条例の一部改正について 「国民健康保険法」の一部改正に伴い、被保険者証の返還に係る罰則規定が改正されたことから、この条例において所要の改正を行うもの。	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第48号	砺波市子ども・子育て会議条例の一部改正について 「子ども・子育て支援法」の一部改正に伴い、この条例中の引用条名が改正されたことから、この条例において所要の改正を行うもの。	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第49号	令和5年度砺波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第50号	令和5年度砺波市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第51号	令和5年度砺波市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第1号	令和5年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第2号	令和5年度砺波市国民健康保険事業特別会計歳入歳出認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第3号	令和5年度砺波市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第4号	令和5年度砺波市霊苑事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第5号	令和5年度砺波市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第6号	令和5年度砺波市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第7号	令和5年度砺波市工業用水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第8号	令和5年度砺波市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
認定 第9号	令和5年度砺波市病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第52号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて (廣橋 里志氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案 第53号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて (亀ヶ谷 昭子氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○

7/29 民生病院常任委員会 現地視察

7月29日、令和5年度決算概要と今年3月に策定された「市立砺波総合病院経営強化プラン」についての説明を聞き、その後新しく導入された内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチXi」の視察を行いました。

「令和5年度の入院収益は増額となったが、コロナ関連の補助金の大幅減額に加え、人件費の上昇や物価高騰による材料費の上昇などの影響で3億8800万円の赤字決算となった。来年4月の開設を目指す緩和ケア病棟によって収益のアップが見込まれるが、医師・看護師等の確保が大きな課題である」とのことでした。



8/5 砺波市議会・南砺市議会 議員研修会

8月5日、南砺市クリエイタープラザ、桜クリエ多目的ホールを会場に開催されました。

最初に、令和8年の開業を目指す「PLAY EARTH PARK」事業（南砺市桜ヶ池周辺にキャンプサイト、農園、レストラン、フィットネスジム、ミュージアムなどを備える）についての理念と構想について、(株)PLAY EARTH PARK代表取締役社長、木村宏氏の講演がありました。

さらに昨年12月に開通した「城端スマートインターチェンジ」を視察し「単にアクセスの向上による交流人口の拡大・地域の活性化ばかりでなく、防災力の強化や救急活動の迅速化を期待しての建設」との説明がありました。



9/5 産業建設常任委員会 議員研修

9月5日「庄川地域のまちづくりと庄川水記念公園の再整備について」とのテーマで、(株)松井設計代表取締役、松井滋氏にお話を伺いました。

「庄川地域は、清流庄川が育んだ「水の郷」、世界的にも素晴らしい景観や温泉、食や文化など、経済・社会的な価値が揃っている魅力的な地域である。人口減少が進む中、子どもたちが戻ってくるような「まちづくり」になるよう、次世代へのプレゼントと思い、緊張感をもって取り組んでいる」と説明を受けました。



9/29 防災訓練 (シェイクアウト訓練、 安否確認訓練)

9月29日、市の防災デー・総合訓練を視察し、併せて議員の安否確認訓練をグループウェアなどデジタルを活用して行いました。

これに先立ち、8月26日定例会初日には、議場にてシェイクアウト訓練を行いました。



傍聴してみませんか

令和6年12月定例会カレンダー（予定）



日	月	火	水	木	金	土
	2 10:00 本会議	3	4	5	6	7
8	9 10:00 本会議 (代表・一般質問)	10 10:00 本会議 (一般質問)	11 10:00 産業建設 常任委員会	12 10:00 民生病院 常任委員会	13 10:00 総務文教 常任委員会	14
15	16	17 10:00 本会議				

傍聴手順

- ① 当日、砺波市役所本庁3階の会場前にお越しください。
- ② 会場出入口付近にある受付票に、住所・氏名等を記入ください。
- ③ 会場の傍聴席へ入場ください。（傍聴は出入り自由です。）

皆さんの声

を募集しています



議会を傍聴してのご意見や議会だよりを
読んでのご感想を、当議会だよりで紹介
していきます。
皆様からの多数の応募をお待ちしています。

- 砺波市の振興・活性化に寄与することを念頭において質問してほしい。
- 生で聞き、傍聴してよかった。
- しっかりとした質問、真摯な質問に関心した。
- 議員の質問したいことがわからないことがあった。
- 議員の呼び出しは、〇〇君なんですね。
- マルチコピー機やコンビニを配置している市が全国にあるので、市庁舎に設置できるのではないかな。…質問内容、質問順番、いつ頃発表になるのですか。(※)
- 久しぶりに、ゆっくり傍聴させていただきました。議会のことがよくわかり、また参加したいと思います。
- 質問者は、質疑の中で、用語の説明や解説は最小限にして、答弁を求める内容をわかりやすく聞き質問してほしい。起承転結で明確質疑してほしい。本会議で聞く前に関係課と調整できないものか。本会議を有効性のあるものに。
- パソコン、タブレットを有効に利用し、色々と新鮮なことを経験させていただき、有意義な議会傍聴となりました。

(※) 回答

本会議2日目の一開庁日前には、砺波市議会ホームページで公開されます。

議会ごぼれ話 初なかつぎ

先般の議会規則の改正で、常任委員会で委員長からの発言のやり方が変更となりました。

今定例会の総務文教常任委員会では、議案第43号の審議の中で、委員長からの質問が行われました。

この常任委員会委員長から当局への質問には手順があり、委員会の進行を一旦、副委員長へ交代し、委員長席から質問をします。

今回、私がその中継ぎ役である副委員長の役にあたり、初めて委員会の進行の一部を担いました。

進行の途中で、委員会の会場の雰囲気が一瞬変わった（ように私が感じた）瞬間があり、背中に一筋の冷たい汗がツツと落ちました。進行には影響はありませんでしたが、進行のマイクがなんとも重く感じました。

さて各常任委員会は、本会議同様に傍聴が可能となっています。本会議でのやり取り以上に、委員会では議員と行政職員のリアルな声が傍聴される方に伝わると思います。委員会の模様はネットで放送しておりませんので、よろしければ各常任委員会の傍聴にもお越しください。（境 佐余子）

編集後記

秋を感じる味覚を楽しんでいます。新米、柿、栗、ポポー、子持ちアユ等々、砺波は良い地域だなと感じているのは、私だけではないはず。議会活動が市民に伝わる「市議会だより」を目指し、今回、他市の議会だよりの良いと感じる事例を参考に、様々な話し合いが行なわれました。どのような配置が良いとか悪いとか、読みやすい文字の書体やサイズとか。広報編集でこれほど活発に意見が出ていたことは無かったのではと感じています。今藤部会長が、上手く意見を纏め出来上がった「市議会だより」、秋の味覚とともに読んでいただき「市議会」を身近に感じていただけたら幸いです。（開田 哲弘）



「森のカスタードクリーム」といわれるポポー

写真やご意見・ご感想を
募集しています。

申込はこちらから▶



マチイロアプリ

スマホで「議会だより」(フルカラー版)
が発行日の朝から読めるアプリの
インストールはこちらから▶▶▶

